

# 公共交通に関するお知らせ

【問い合わせ】新館都市政策課(☎24-2111内線562)

## 6月1日から大迫花巻線の運賃を上限700円に設定します

利用しやすくなります

「大迫花巻線」は、大迫地域と花巻地域を結ぶ重要な幹線バス路線です。

同路線は、大迫地域から県立中部病院までを乗り換えすることなく利用でき、平日は4往復、土・日曜日、祝日は2往復(ただし、土・日曜日、祝日の運行は花巻駅前まで)運行しています。

しかし、片道35.4\*の長距離を運行しているため、乗車距離に応じて運賃も高額になり、利用者の負担が大きくなっていました。

市では、利用者負担の軽減を図るため、6月1日から運賃の上限を700円に設定。従来、700円を超えていた区間の運賃は、全て700円で利用できます。



### 運賃の例

現行	上限額適用後
大迫バスターミナルから花巻駅前までの区間 870円	大迫バスターミナルから花巻駅前までの区間 700円
大迫バスターミナルから県立中部病院までの区間 1,100円	大迫バスターミナルから県立中部病院までの区間 700円

※700円未満の区間の運賃に変更はありません

## 6月1日からの指定乗降場所を追加します

石鳥谷地域・東和地域の予約乗合バス

石鳥谷地域・東和地域で運行している「予約乗合バス」の指定乗降場所を6月1日から追加・一部廃止します。

※指定乗降場所…目的地として行くことができる場所、または自宅に帰る際に乗車できる場所

### 追加する指定乗降場所

■石鳥谷地域予約乗合バス

コメリ石鳥谷店、サンデー石鳥谷店、グリーンセンター石鳥谷、特別養護老人ホームいしどりや荘

※河東地区・河西地区どちらにお住まいの人も利用できます

■東和地域予約乗合バス

コメリ岩手東和店

※北部地区・南部地区どちらにお住まいの人も利用できます

### 廃止する指定乗降場所

■東和地域予約乗合バス  
ちば整骨院(廃院のため)

### 運行日時、利用料金

■石鳥谷地域予約乗合バス  
▷運行日…火・木・金曜日(年末年始を除く)  
▷運行時間…午前8時～午後5時  
▷利用料金…1乗車400円  
※小学生・障がい者は150円

■東和地域予約乗合バス

▷運行日…月・水・金曜日(年末年始を除く)  
▷運行時間…午前8時～午後5時  
▷利用料金…1乗車400円  
※小学生・障がい者は150円

### 利用方法

予約乗合バスは、対象地域に住所または住居を有する人やその家族が利用できます。利用には、事前の利用者登録が必要です。登録方法などは、市ホームページをご覧ください。新館都市政策課、石鳥谷・東和総合支所へお問い合わせください。

## ワイン・シードル醸造志向者支援

ワイン・シードルの醸造を新たに始めようとする人や既にワイナリーを運営している人を対象に、さまざまな支援を行います。

### ワイナリー整備等事業補助金

①ワイナリー整備や醸造設備導入経費  
▶新規ワイナリー設立経費…補助対象経費の5分の4以内(上限500万円)▶既存ワイナリーの醸造設備の新規導入経費…補助対象経費の3分の2以内(上限200万円)▶既存ワイナリーの果実酒直売所、テイスティングルームなどの整備費…補助対象経費の2分の1以内(上限200万円)

②新規ワイナリーの果実酒開発や販路開拓経費…補助対象経費の2分の1以内(上限200万円)

※継続して実施する場合は、1年度内1回とし、連続する3カ年度内の3回まで

③既存ワイナリーの販路開拓経費…補助対象経費の2分の1(上限30万円)

### 醸造技術習得支援事業補助金

ワイナリーが市内に醸造所を設けようとする人を研修生として受け入れる場合の経費(1日当たり5,000円)

## 日本財団「はたらくNIPPON!計画」とは

障がい者の就労支援のモデルとなる新事業に対し、資金などを助成する事業。障がい者が就労で得る月額工賃の向上を目指しています。

【問い合わせ】  
本館定住推進課  
(☎24-2111内線435)

「ワイン・シードルのまち」に向けて  
本市では、農業者所得・生産意欲の向上を図るため、果実の高付加価値を進めます。また市外からの移住者や新規就農者などのブドウ生産の担い手を確保するため、ワイン・シードルの醸造志向者を対象とした支援を実施。元気なまち花巻の復活を目指します。



ワイナリー完成イメージ

# 『花巻クラフトワイン・シードル特区』 認定後初のワイナリーを整備

社会福祉法人悠和会(幸田)が本年度、障がい者が働くワイナリーと醸造用ブドウ園地を整備します。同ワイナリーは、本市が内閣府から認定を受けた構造改革特別区域計画「花巻クラフトワイン・シードル特区」を活用して整備される最初の施設。市内農業従事者の栽培技術の継承や障がい者の就労と経済的・社会的自立を支援する場

として運用されます。  
来月1月オープンを目指す  
同ワイナリーは、悠和会が運営する障がい者就労支援施設「ワークステージ銀河の里」が実施主体。木造2階建て、延べ床面積約259平方メートルの施設を整備し、平成31年1月のオープンを予定しています。また、休耕田1畝をブドウ畑に

造成。本年度は醸造用ブドウ2品種の苗木400本、来年度は2千本を植栽予定で、平成34年度の収穫を目指しています。  
東北初となるモデル事業導入  
事業費は、1億1千万円が見込まれています。同事業は日本財団の障がい者就労支援プロジェクト「はたらくNIPPON!計画」のモデル事業として東北では初めて採択。約6960万円が助成されます。さらに、市では本年度から創設した「ワイナリー整備等事業補助金(最大で500万円)」と障がい児・障がい者支援施設整備事業補助金(最大で780万円)による支援を見込んでいます。